

問一

次の①～④の文に使われている表現の工夫の説明として当てはまるものを、後の説明ア～エの中から選び、記号で答えましょう。

① なんて美しいのだ、今夜の月は。

エ 「今夜の月は、なんて美しいのだ。」という文の、言葉の順序を入れかえて書いているね。

② 新しく習った漢字を何度も何度も書いて、覚えるまで練習した。

ウ

③ まるで山のように大きな岩が、道をふさいでいました。

ア

④ その湖は青く大きな鏡だ。

イ

湖は鏡ではなく、鏡にたとえているんだね。ちなみに「まるで大きな鏡のようだ」でも分かりやすいね。

ア 「まるで」のようだ」など、たとえであることを示す言葉を使い、ある物事を、他の物事にたとえる。
イ 「まるで」のようだ」などを使わずに、ある物事を、他の物事にたとえる。
ウ 同じ言葉や似た言葉を繰り返して強調したり、リズムを整えたりする。
エ 文中の言葉の順序を入れかえて強調する。

問二

次の文中の 線部が様子や状態を表す言葉 (擬態語) であればアを、音を表す言葉 (擬音語) であればイを□に書きましよう。

① 寒さで体がふるふる震える。

ア

② 扉をバタンと閉める。

イ

③ カミナリがゴロゴロと鳴る。

イ

④ 星がきらきらと輝く。

ア

⑤ ドーンと花火が打ち上がる。

イ

⑥ 花びらがひらひらと舞い落ちる。

ア

様子や状態を表す言葉や音を表す言葉が入ると文章がとても分かりやすくなるね。自分の身の周りには、他にどんな言葉があるだろう？探してみよう！

